令和６年度第２回さいたま市発達障害者支援連絡協議会　議事概要

開催日時：令和６年１０月４日（金）　１５時～１７時

開催方法：障害者支援センター　２Ｆ作業室

出席者名：委員・・・名越　斉子委員、眞鍋　伸介委員（代理出席）、山森　恵美委員、天野　尚子委員、石丸　靖子委員、小島　正美委員、内田　陽子委員、國分　留志委員、井上　野歩委員、西本　享司委員、岡田　清華委員、市原　菜央委員、新井 勇気委員、野中 好永委員、枝　秀威委員、鈴木　研吾委員 （敬称略）

事務局・・小泉　秀幸、太田　邦子、中尾　賢史、山本　洋子、新藤　洋明、森居　深雪、菊地　義徳

欠席者名：河西　有奈委員、中野　昭江委員、佐藤　忠広委員、中澤　真佐子委員（敬称略）

配布資料：次第

令和６年度さいたま市発達障害者支援連絡協議会　委員名簿

令和６年度第1回さいたま市発達障害者支援連絡協議会議事概要

Ｑ-ＳＡＣＣＳ記入方法

公開又は非公開の別：非公開（さいたま市情報公開条例第23条第2号に掲げる場合に該当するため｛同条例第7条第2号に規定される不開示情報に該当する事項について審議し、又は意見を聴取するため｝）。

議題:

1. 模擬事例検討

発達障害者支援センターが模擬事例を提示。委員が年代・領域ごとに分かれ事例の支援について縦断的に検討を行った。

領域ごとの支援の課題や社会資源の情報等が委員全体に共有され、この形式の事例検討が支援者育成に有用であることを確認した。

（２） Ｑ-ＳＡＣＣＳの取り組みに向けて

市の発達障害者支援体制の可視化ツールであるＱ-ＳＡＣＣＳの概要と記入方法について事務局より説明。各委員に作成を依頼し、事務局で集約したものを基に第３回で協議を行う。

（３）事務局による事務連絡

　　・謝金の支払いについて

　　・第３回さいたま市発達障害者支援連絡協議会について

以上